

植物多様性センターの「オギに芒(のぎ)なし、、、」

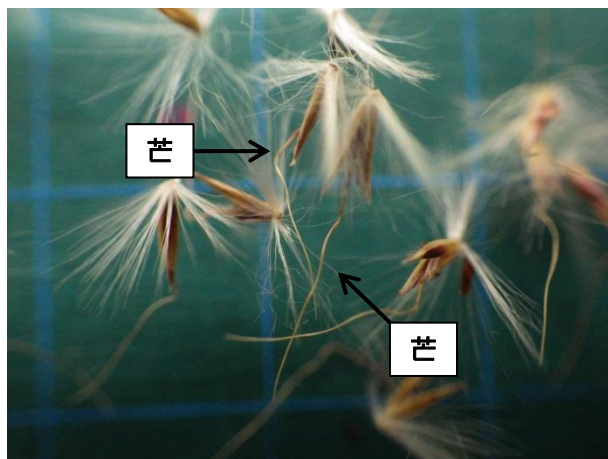
ススキとオギはよく似た植物です。特に綿毛をもつ穂の形はそっくりです。植物のことを学び始めた頃、教えてもらった見分け方が「オギに芒なし、ススキに芒あり」でした。これは漢字の「爪に爪なし、瓜に爪あり」をもじったものと思われます。イネ科の芒の役割は食害防止や、種子が地表に落ちたとき乾湿運動で、地面に潜るためのものとされています。オギはススキと異なり、水辺の傍に生育するから芒をもっていないのでしょうか？



ススキの穂：直線的で短く放射状の綿毛(基毛)が密生する



オギの穂：基毛はセルロース、ふんわりやわらかく細く長い



ススキの小穂：護穎にケイ酸質の固くてねじれた長い芒をもつ



オギの小穂：長くやわらかな基毛をもち、護穎に芒はない